

平成26年度
玉城町社会福祉協議会
事業報告書

(平成26年4月1日～27年3月31日)

社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会

目 次

1. 法人運営	
(1) 法人運営の経営体制の強化	3
(2) 会員制度等の推進	6
(3) 社会福祉協議会の役割や活動周知	7
(4) 役員・職員等の資質向上研修の取り組み	7
(5) 各種関係機関・団体との連携強化	7
2. 地域福祉事業の推進	
(1) 身近な地域で福祉サービスを楽しむ地域づくり (老人福祉活動事業)	11
(2) 積極的に社会参加できる環境づくり (福祉育成・援助活動事業)	13
(3) ボランティア活動と福祉教育の推進 (ボランティア活動育成事業)	15
(4) 障がい者の自立と社会参加の促進 (障がい児・者福祉活動事業)	18
3. 相談・援助事業の推進	
(1) 福祉相談機能の充実強化	19
(2) 低所得者世帯の生活安定事業	19
(3) 福祉サービス利用に関する相談援助事業	19
4. 受託事業の運営	
(1) バス事業 (研修バス・福祉バス・元気バス・すまいるバス)	20
(2) 各種福祉団体事業の運営	21
(3) ICTふるさと元気事業の運営	21
5. 募金活動の推進	
(1) 日本赤十字社募金と地域福祉活動	21
(2) 共同募金と歳末助け合い活動	21
(3) 災害義援への協力及び活動	22
6. 在宅福祉事業の運営	
(1) 介護保険事業の推進と実績	22
(2) 障害者支援事業の取り組みと実績	22
(3) 移送サービス支援事業	23
7. 地域住民からのニーズ事業	
(1) シルバー人材センター事業	23

平成26年度の事業報告

本会は、地域や社会とのつながりが希薄化し助けあい支えあう仕組みが失われつつあるなかで、顕在化したニーズを把握し、支援策として計画策定した「地域ふくし力向上計画」を推進し、今年度3年目の最終年度となりました。活動の中では、あいさつ運動の継続的な展開をはじめ、住民が集う場、イベントなどにも積極的に参加し、人と人とのつながりの機会を創出してきました。なかでも、小中学生を中心とした事業を拡大し、特に中学生と地域の人たちが防災をテーマにした座談会は非常に価値のある取り組みとなりました。

さらに、当年度は法人認可設立30周年を迎え、事業を進める中で多くの方からご支援を頂いたことは本会が取り組む事業への賛助であると決意を新たにしましたところではあります。

在宅介護分野においては地域内の施設の充足も進み、介護報酬の収入減の幅が広がっています。一方、障がい者支援においては障がい者児への相談支援事業を開始し、町と協力し合って新たな障がい者福祉施策に取り組みはじめました。

受託事業では、元気バス運行がはじまり6年を経過し、東京大学大学院との共同研究の集大成となる高齢者医療費への効果が実証され、ますます安心して暮らしやすい町の実現のためその一助となっているといえます。

以上のように、当初掲げた事業を予定どおり進めることができ、本会への一段の理解を得られたと考えています。

1. 法人運営

(1) 法人運営の経営体制の強化

①理事会

	開催日	議 題
第1回 出席者 理事12名 監事1名	5月26日	報告第1号 理事の選任について（継承） 報告第2号 評議員の選任について（継承） 議案第1号 平成25年度玉城町社会福祉協議会事業報告について 議案第2号 平成25年度玉城町社会福祉協議会一般会計決算について 議案第3号 平成25年度玉城町社会福祉協議会生活介護事業夢工房たまき特別会計決算について 議案第4号 平成25年度玉城町社会福祉協議会シルバー人材センター特別会計決算について 議案第5号 平成25年度玉城町社会福祉協議会共同募金特別会計決算について
第2回 出席者 理事10名	10月29日	議案第6号 定款の一部改正について
第3回 出席者 理事10名	11月27日	報告第3号 平成26年度玉城町社会福祉協議会事業中間報告について 議案第7号 職員給与規程の一部改正について 議案第8号 平成26年度玉城町社会福祉協議会社会福祉拠点区分会計補正予算（第1号）について 議案第9号 平成26年度玉城町社会福祉協議会障がい福祉拠点区分会計補正予算（第1号）について 議案第10号 平成26年度玉城町社会福祉協議会公益拠点区分会計補正予算（第1号）について 議案第11号 評議員の選任について
第4回 出席者 理事12名 監事2名	12月25日	議案第12号 会長・副会長の選任及び法人の代表権について 議案第13号 第三者委員の選任について

第5回 出席者 理事10名 監事2名	3月25日	議案第14号 職員給与規程の一部改正について 議案第15号 経理規程の一部改正について 議案第16号 平成26年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分会計補正予算(第2号)について 議案第17号 平成26年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計補正予算(第2号)について 議案第18号 平成26年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計補正予算(第2号)について 議案第19号 平成27年度玉城町社会福祉協議会事業計画について 議案第20号 平成27年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計予算について 議案第21号 平成27年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計予算について 議案第22号 平成27年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計予算について
-----------------------------	-------	--

②評議員会

	開催日	議 題
第1回 出席者 副会長 評議員20名 監事1名	5月26日	報告第1号 理事の選任について(継承) 報告第2号 評議員の選任について(継承) 議案第1号 平成25年度玉城町社会福祉協議会事業報告について 議案第2号 平成25年度玉城町社会福祉協議会一般会計決算について 議案第3号 平成25年度玉城町社会福祉協議会生活介護事業夢工房たまき特別会計決算について 議案第4号 平成25年度玉城町社会福祉協議会シルバー人材センター特別会計決算について 議案第5号 平成25年度玉城町社会福祉協議会共同募金特別会計決算について
第2回 出席者 評議員16名	11月27日	報告第3号 平成26年度玉城町社会福祉協議会事業中間報告について 議案第6号 定款の一部改正について 議案第7号 平成26年度玉城町社会福祉協議会社会福祉拠点区分会計補正予算(第1号)について 議案第8号 平成26年度玉城町社会福祉協議会障がい福祉拠点区分会計補正予算(第1号)について 議案第9号 平成26年度玉城町社会福祉協議会公益拠点区分会計補正予算(第1号)について 議案第10号 理事の選任について 議案第11号 監事の選任について
第3回 出席者 評議員24名	3月25日	議案第12号 平成26年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計補正予算(第2号)について 議案第13号 平成26年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計補正予算(第2号)について 議案第14号 平成26年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計補正予算(第2号)について 議案第15号 平成27年度玉城町社会福祉協議会事業計画について 議案第16号 平成27年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計予算について

		議案第17号 平成27年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計予算について 議案第18号 平成27年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計予算について
--	--	---

③役員会

第1回 役員12名	10月29日	定款の一部改正について ・障がい特定相談支援事業の経営 ・理事、評議員の定数について
第2回 役員11名	2月16日	・平成26年度事業報告 ・平成27年度事業計画及び予算編成について

④監事会

	開催日	議 題
第1回 出席者監事2人	5月15日	・平成25年度玉城町社会福祉協議会事業報告について ・平成25年度玉城町社会福祉協議会一般会計決算の監査について ・平成25年度玉城町社会福祉協議会特別会計決算の監査について
第2回 監事2人	11月5日	・平成26年度玉城町社会福祉協議会中間監査について

⑤主任会議 月1開催

健全な経営基盤を確立し、住民に効果的・効率的なサービスを提供するため、主任以上の職員を対象に開催。財務、人事、事業に関してさまざまな検討を行いました。

	開催日	議 題
第1回	4月10日	・平成25年度決算資料作成について ・平成26年の職員健康診断について ・赤十字社員増強月間のお願い ・平成26年度社協会費のお願い（職員対象） ・職員のモラルについて ・個人情報の取り扱いについて ・各事業所報告・ヒヤリハット 他
第2回	5月8日	・平成25年度決算について ・「元気ですたまきまつり」の開催 ・田丸城跡クリーン作戦について ・「おせっk a i たまき婚活」イベントの開催 ・庶務事項の連絡 ・車両事故について ・接遇姿勢について ・各事業所報告・ヒヤリハット 他
第3回	6月12日	・元気ですたまきまつり報告について ・夏季における職員の健康管理について ・一時金について ・アンケートの集計結果 ・各事業所報告・ヒヤリハット 他
第4回	7月10日	・庶務連絡 ・地域福祉事業への参加協力 ・各事業所報告・ヒヤリハット 他
第5回	8月6日	・職員の健康について ・職員面談について ・社協会員増強運動について ・防災について ・各事業所報告・ヒヤリハット 他

第6回	9月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉士現場実習生報告 ・ 職員面談を終えて ・ 赤い羽根共同募金について ・ 防災について ・ 増築工事について ・ 郵政グループからの車両寄贈 ・ 各事業所報告・ヒヤリハット 他
第7回	10月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期監査資料の作成 ・ 省エネの推進 ・ 防災について ・ 秋の田丸城クリーン作戦 ・ 個人情報の取り扱いについて ・ 「地域福祉座談会（10月26日 日曜日）」 ・ 主任の役割 ・ 職員研修の振り返り
第8回	11月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事会、評議員会の開催 ・ 期末勤勉手当の支給について ・ 年末年始休業について ・ 職員採用について ・ 30周年式典について ・ 車両事故について ・ 苦情について ・ 言葉遣いについて
第9回	12月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年度当初予算について ・ 事故について ・ 新役員・新評議員の改選について ・ 時間外の取り扱いおよび給料の改定について ・ 人事について ・ 年末年始について ・ 年末清掃について
第10回	1月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給与改定について ・ 第13回「玉城町社会福祉大会」 ・ 運転者のマナーについて ・ パート職員採用 ・ 電話のマナー
第11回	2月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役員会について ・ 第13回「玉城町社会福祉大会」報告 ・ 個人情報の取り扱いについて ・ 車両事故報告 ・ 業務の補助について ・ 機密処理について
第12回	3月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事会、評議員会について ・ 来年度の各事業所の方針 ・ 職員研修について ・ 桜まつりについて ・ あいさつ運動について ・ 職員採用

(2) 会員制度等の推進

① 社会福祉協議会会員の増強及び地域福祉活動費への協力

本年度も、早期に会員の増強に取り組みました。

会員区分	年度	24		25		26	
		会員口数	会費	会員口数	会費	会員口数	会費
個人会員	300円/口	1,836口	550,800円	1,821口	546,300円	1,942口	582,600円
団体会員	5,000円/口	72口	360,000円	69口	345,000円	70口	350,000円
賛助会員	10,000円/口	28口	280,000円	35口	350,000円	32口	320,000円
計		1,936口	1,190,800円	1,925口	1,241,300円	2,044口	1,252,600円

②寄附金 (円)

年 度	24	25	26
金 額	1,534,666	1,764,703	2,728,844

③チャリティーバザーの開催 (町桜まつりチャリティーバザー) (円)

年 度	24	25	26
金 額	87,261	78,600	55,850

災害義援金

- ①東日本災害義金・・・10,000円
- ②南木曾町豪雨災害義援金・・・10,000円
- ③京都府、兵庫県豪雨災害義援金・・・10,000円
- ④長野県神城断層地震災害義援金・・・10,000円

上記4つの災害に対して日本赤十字を通じて義援金を送りました。

3/31現在 460,757円

(3) 社会福祉協議会の役割や活動周知

地域福祉の担い手として行政との連携の元、ともに住民にサービスを提供し、さらに行政には出来ない住民等との関わりを補完的に担っています。

また、社協の力が福祉力、地域力となるよう心がけています。

①『元気ですたまきまつり』の開催

日時：6月1日(日) 10:00～14:00

場所：保健福祉会館及びふれあいホール

テーマ：みんなで広げようたまきの輪

内容：広く住民の方に福祉の啓発を行う。また、地域活動の交流の場として開催。

今年の特徴：

実行委員会を中心に内容を検討、実施しました。オープニングに多くの参加をいただくため、今年度は、体操に参加された方に喫茶白ゆりドリンクなどと交換できるチケットを配布しました。また、餅つきのふるまいも企画し、盛況を得ました。950人の来場者に地域力、福祉力をPRできたと考えています。

引き続き、来場者や出店者等からのアンケートや意見をもとに、住民の方が参加しやすく、よりよいイベントになるよう努めました。

②普及宣伝

- ・ 広報「たまき社協だより」発行
年4回(5月 8月 11月 2月) 各4,800部 町広報に挟み込み。
8ページの構成で発行しています。

- ・ ホームページの活用
- ・ ブログ・フェイスブックの活用

(4) 役員・職員等の資質向上研修の取り組み

住民の方々に効果的・効率的なサービスを提供するため、事業別・業種別の研修をはじめ、全職員対象に実施しました。

職員勉強会3回実施

- ①4月23日(48名出席)
テーマ：「職員倫理、法の遵守、個人情報保護」
講師：菰野町社協事務局長 福田 雅文 氏
- ②9月24日(28名出席)
テーマ：褥瘡対策セミナー
講師：(株)タイカ名古屋営業所 飯沼 和夫 氏
- ③11月20日(35名出席)
テーマ：AED研修
講師：日本赤十字社

(5) 各種関係機関・団体との連携強化

各関係団体との連携、ネットワーク構築は、地域福祉の推進者として社会福祉法に位置づけられた社協にとって中心的な活動といえます。

なかでも、町から委託される民生委員児童委員活動事業は特に重要なものであり、平成25年12月改選により、民生委員・児童委員33名（1名増員）、主任児童委員2名が地域福祉等の活動に取り組んでいます。同時に研修においても研さんにも努めています。

福祉5団体活動は独自の活動においても、町及び教育委員会等と連携の元、積極的に事業に参加、協力、支援を行い、他市町との連携もうまく取れています。

また、県社協（地域推進協議会：事務局長会議）の分科会として、引き続き「財政」、「今後のあり方」の2部会で情報の共有をしています。

① 民生委員児童委員協議会活動

- ・ 役員会（毎月最終水曜日）

	開催日	内 容
第1回	4月30日	第2回定例会事項検討 活動報告書について
第2回	5月28日	第3回定例会事項検討 元気ですたまきまつり準備について 救急医療カードについて 温泉券について
第3回	7月30日	第5回定例会事項検討 元気ですたまきまつりアンケート
第4回	8月27日	第6回定例会事項検討 挨拶デーについて
第5回	9月24日	第7回定例会事項検討 担当地区（住所地か区入り地か）について
第6回	10月29日	第8回定例会事項検討 老々世帯名簿について 地区部会・専門部会の在り方について たまリンピックについて
第7回	11月26日	第9回定例会事項検討 温泉券の取り扱い 檀原市民児協視察交流報告
第8回	12月24日	第10回定例会事項検討 地域活動について
第9回	1月28日	第11回定例会事項検討 鈴鹿市民児協視察研修の受入 平成27年度事業計画・活動計画 楽笑会について 民生委員研修会について
第10回	2月25日	第12回定例会事項検討 まつり実行委員会について
第11回	3月25日	平成27年度第1回定例会事項検討 元気ですたまきまつりについて まつり実行委員会について

- ・ 定例会（毎月第1水曜日）

	開催日	内 容
第1回	4月2日	平成25年度事業報告及び決算報告について 平成26年度収支予算（案）について 平成26年度社協会費のお願い 事例発表 研修会報告 専門部会ミーティング・連絡事項
第2回	5月7日	玉城町高齢者施策と動向について 平成25年度心配ごと相談報告について 視察研修について 元気ですたまきまつりについて 学校訪問日程 事例発表 専門部会ミーティング・連絡事項

第3回	6月4日	介護保険制度について 救急医療カードについて 視察研修について 民生委員・福祉協力員合同研修会について 学校訪問日程 事例発表 専門部会ミーティング・連絡事項 温泉券の活用と申請について
第4回	6月25日 25～26日	事例発表 連絡事項 (視察研修 滋賀県)
第5回	8月6日	研修会報告 視察研修報告 防災啓発グッズ「備えトコ」配付について 事例発表 専門部会ミーティング・連絡事項
第6回	9月3日	生活福祉資金事業研修 敬老祝い金の配付について 赤い羽根街頭募金 菰野町民児協視察受入 楽笑会について 地域福祉座談会について 事例発表 専門部会ミーティング・連絡事項
第7回	10月1日	高齢者福祉施設(弘樹苑)見学 研修会報告 子ども虐待防止啓発月間の取り組み 事例発表 専門部会ミーティング・連絡事項
第8回	11月5日	子育て支援事業について 障害児者施策について 民生・児童委員実態調査 事例発表 専門部会ミーティング・連絡事項
第9回	12月3日	障害児者施策について 全国社会福祉大会報告 楽笑会下外城田の報告 歳末まごころ弁当について 事例発表 意見交換 専門部会ミーティング・連絡事項 橿原市民児協視察交流会報告
第10回	1月7日	町長との新年懇談 玉城町社会福祉大会 事例発表 意見交換 専門部会ミーティング・連絡事項
第11回	2月4日	卒業式・入学式日程 事例発表 意見交換 専門部会ミーティング・連絡事項
第12回	3月4日	放課後児童クラブについて 研修会報告 平成27年度事業計画(案)について 民生委員研修会(ふくしを支える勉強会)について 事例発表 意見交換 専門部会ミーティング・連絡事項

第1回まつり実行委員

- ・毎月、定例会の中で部会ミーティング（高齢者・身障・児童部会）を開催
- ・下校時安全パトロール 各学校区ごとに毎月1回以上実施
- 視察研修 6月25～26日、滋賀県視察研修 26名出席
 - ①東近江市あいとうふくしモール、②大野木市長寿村、③長浜市「集」
- 視察受入 9月5日 熊本県玉東町民児協 19名
 - 10月15日 菰野町民児協 27名
 - 11月17日 奈良県橿原市民児協 13名
 - 3月10日 鈴鹿市白子地区民児協・輝きの会 24名
- 研修 7月9日、協力員との合同研修 心肺蘇生法 21名出席
 - 8月6日、平岡運動指導士による「元気です玉城体操」指導練習
- 表彰 5月 全国民生児童委員連合会会長表彰 前藤川幸子副会長
 - 10月 全国社会福祉協議会会長表彰 阪本満治委員

福祉協力員の連携

福祉協力員は民生委員退任後、本会会長が委嘱し任期は3年。

任期：平成25年12月1日から28年11月30日

委員構成：21名

- ・あいさつ強化デー（第3火曜日：さんかの日）街頭啓発。
- ・社協事業への協力依頼。
 - 元気ですたまきまつりにスタッフとして参加。
 - 楽笑会（下外城田、有田、外城田校区）。
 - 地域福祉座談会（玉城中学校）。
 - 社会福祉大会。
- ・民生児童委員との合同研修
 - 7月9日（水）初顔合わせ、応急手当講習（講師：伊勢消防署・玉城町消防団）
- ・民生児童委員と協力し、地域におけるネットワークづくり及び災害時の安否確認。

② 福祉団体活動

(単位：人、円)

団体名	会員数	主な事業	町補助金
玉城町老人クラブ連合会	1,767	5月 総会及び研修会 6月 春の研修視察旅行 8月 理事会 10月 玉城町老人クラブ連合大会 11月 公共施設草刈奉仕作業 11月 秋の研修視察旅行 12月 度会郡老人クラブ芸能大会(玉城開催地) 1月 冬の研修視察旅行 役員会 年5回	1,334,000
玉城町身体障害者福祉会	174	5月 総会 9月 理事会 10月 親睦一日研修旅行 11月 三重県身体障害者福祉大会 3月 南勢ブロック演芸の集い 県・郡身連主催の各種スポーツ大会参加	300,000
玉城町遺族会	304	5月 総会 8月 戦争体験学校講話 (玉城中学校1年生) 語り継ごう戦争体験 (戦争創作落語) 9月 戦争体験学校講話 (下外城田小学校5・6年生) 10月 理事研修会(戦争跡見学 阿児町)	428,000

		11月	戦争体験学校講話 (田丸小学校4・5年生) 役員会 年4回 臨時理事会	
玉城町母子寡婦福祉会	31	4月	理事会 総会	167,000
		5月	花の植え替え	
		7月	日帰り研修(志摩市)	
		9月	理事会	
		10月	花の植え替え	
		12月	研修会(みや古)	
		12月	花餅作り	
		3月	郡交流イチゴ狩り ※毎月、福祉会館の草取り奉仕作業を実施	
玉城町手をつなぐ親の会	22	5月	総会	40,000
		(8月	台風の為、夕涼み会は中止)	
		11月	先進地視察(伊賀市 ふっくりあ)	
		1月	新年交流会 ※定例勉強会を隔月にて開催	
合計				2,269,000

③ 近隣社会福祉協議会との情報交換による連携強化

- ・ 財政検討部会 (県社協：1回開催)
財政運営に関する健全化に関する取り組みなど継続的に検討
- ・ 在り方検討部会 (県社協：3回開催)
行政との関わり、民間団体との共存方法
- ・ 介護支援ソフトを通じた広域的な研修及び情報共有 (玉城町・多気町・明和町・度会町・大台町・大紀町)
近隣町が統一したソフト導入したことを機会に研さんを深めている

2. 地域福祉事業の推進

(1) 身近な地域で福祉サービスを受用できる地域づくり (老人福祉活動事業)

人と人とのつながりに基づく地域生活に着目し、すべての地域住民一人ひとりの自立した生活が可能となるよう、個別の援助とそれに連動した地域の福祉活動に対する支援を積極的に行う事業です。

① サロン事業の支援と推進

地域の方々がボランティアスタッフになり、閉じこもりになりがちな高齢者の気軽な集いの場を設置。地域の支え合いにより介護予防や災害時などの支援にもつながる事業といえます。また、子育て中の家庭への支援も推進しています。

○ いきいきサロン栄町 (毎月第4水曜日：栄町公民館) (H17.2開始) (単位：人)

年度	24	25	26
平均人数	33	32	32

○ サロン玉城苑 (毎月第3木曜日：玉城苑集会所) (H17.11開始、H23.1休止、H24.1再開)

年度	24	25	26
平均人数	18	14	16

○ ふれあいサロン(毎月第3水曜日：大手クラブ) (H18.2開始)

年度	24	25	26
平均人数	25	27	29

○ お楽しみ会(毎月第4月曜日：保健福祉会館) (H19.6開始)

年度	24	25	26
平均人数	7	6	6

○ 万年青の会(毎週月曜日：下田辺公民館) (H21.2開始) 中国健康体操

年度	24	25	26
平均人数	11	9	10

○ 勝田町いきいきサロン(毎月第2水曜日：勝田町公民館) (H21.9開始)

年度	24	25	26
平均人数	17	18	20

○ おふろサロン(毎週月・水・金曜日開催)

参加料：1回150円、回数券(8枚綴)1000円、1ヶ月1500円) (H22.4開始)

年度	24	25	26
登録人数	15	14	15
平均利用人数	4	3	3

② ほのぼの便(安否確認)

ボランティア(ゆずりは会)により毎月絵手紙を作成。民生児童委員と連携し毎月独居高齢者へ配達し、安否見守り活動に効果を上げています。

(単位：人)

年度	24	25	26
利用人数	127	129	134

③ 歳末援護事業(まごころ弁当)

75歳以上の一人暮らしの方を対象に希望者へ、12月30日に民生委員のご協力のもと「まごころ弁当」配布により安否確認を実施しています。

(単位：人)

年度	24	25	26
利用人数	131	144	147

④ ホットサークル

介護者支援事業として介護者のリフレッシュの場を提供

(単位：人)

年度	24	25	26
開催回数	4	4	3
平均参加人数	14	12	10

⑤ ぴんの会

独居高齢者支援事業として地域包括支援センターと協働。平成23年2月設置。会食を中心に高齢者同士の集いとして自立を目指しています。

(単位：人)

年度	24	25	26
開催回数	11	12	12
平均参加人数	31	29	29

⑥ 給食サービス

75歳以上の一人暮らしの方を対象に希望者へ毎月第1・3日曜日に昼食を届けています。ボランティア虹の会がふれあい型の活動として運営。事業費は共同募金が原資により無料提供。平成24年度から利用料(1回200円)を徴収、これを地域福祉費に充当している。希望者は平均26名/月

年度	24	25	26
回数	19	19	19
平均配達人数	25	22	23
延べ人数(配食数)	475	425	443

⑦ 楽笑会（らくしょうかい）

平成24年度から地域型のおたのしみ会として、閉じこもりがちな高齢者の地域参加の場を学校区単位で行い、地域の世代を超えた交流によってコミュニケーションを図っています。今年度は、3校区（外城田地区（10/3）・有田地区（10/11）・下外城田地区（11/29））において開催しました。24年度から年度毎に1校区ずつ開催場所を増やしており、外城田地区は、初めての実施となりました。また、今年度は各学校の授業内で開催しております。

（単位：人）

年度	24	25	26
下外城田参加人数	39 (7)	53 (3)	52 (5)
有田参加人数		40 (6)	49 (8)
外城田			77 (14)

※（ ）内は、対象高齢者人数

(2) 積極的に社会参加できる環境づくり（福祉育成・援助活動事業）

地域のすべての住民を対象に、社会福祉への理解と関心を高め、社会参加、社会連帯の精神を養うとともに、地域内における福祉教育の実践及び学習を通じ、地域の福祉力向上を目指す事業です。

① 元気ですたまき事業

・委員会の運営

平成24年度3期目スタート。任期3年。現在委員12人。アドバイザーにユマニティク医療福祉大学 会長補佐・教員 田村禎章氏を置いています。地域ふくし力向上計画を中心に、住民課題を住民目線で共に考え解決に導いています。今年度は、3期の最終年度であり、計画の見直し、計画の2期目に向けた検討を行いました。

（単位：人）

開催日	内 容	参加人数
H26. 4. 23	第1回元気ですたまき委員会	8
H26. 5. 28	第2回元気ですたまき委員会	8
H26. 6. 1	元気ですたまきまつり（いきいきアンケート）	8
H26. 6. 18	第3回元気ですたまき委員会	9
H26. 7. 23	第4回元気ですたまき委員会	8
H26. 8. 27	第5回元気ですたまき委員会	7
H26. 9. 24	第6回元気ですたまき委員会	9
H26. 10. 12	町民体育祭（フォークダンス）参加：60人	5
H26. 10. 18	地域福祉座談会	4
H26. 10. 22	第7回元気ですたまき委員会	8
H26. 11. 8	熊野古道ふれあいウォーキング 参加：105人	3
H26. 11. 22	第8回元気ですたまき委員会	6
H26. 12. 7	第9回元気ですたまき委員会	7
H27. 1. 28	第10回元気ですたまき委員会	9
H27. 2. 25	第11回元気ですたまき委員会	9
H27. 3. 25	第12回元気ですたまき委員会	7

・あいさつ強化運動

平成22年1月から毎月第3火曜日の早朝、田丸駅、小中学校、保育所であいさつ運動を展開し住民同士の絆づくりの一助となっている。

活動は、委員はじめ福祉協力員、民生児童委員、社協職員など。各活動箇所でも毎回展開しているほか、玉城中学校では生徒会活動、有田小学校でも児童会活動として参加してくれています。昨年からは障がい者福祉施設「宮の里」、「南勢就労支援センター」の職員もあいさつ強化デーに加わっています。一般の方も場所によっては、参加されている箇所もあります。

（単位：人）

年度	24	25	26
参加人数	352	353	390

※運動に参加する小中学生は含めず

- ・元気ですたまきまつりの開催
 1. 法人運営
 - (3) 社会福祉協議会の役割や活動周知
 - ① 『元気ですたまきまつり』の開催 項目と同じ

- ・元気ですたまき推進事業（オリジナル体操）

元気ですたまきのオリジナル体操は、町のイメージソングと共に平成18年度に誕生。体操として、保育所、学校で活用されるようになっており、一般には桜まつり、アスパシア玉城まつり、町民体育祭、民生委員活動など幅広く使われています。さらに、サロン活動や健康しあわせ委員の活動において健康づくりとして、地域の活動に取り入れられています。

今年度は、法人30周年にあわせ、社会福祉大会において高石ともや氏を招き「元気ですたまきコンサート』を開催し、来場者と共に体操を行いました。それに向けた練習会を8月6日に、振り付けをしていただいた平岡先生にお越しいただき、改めて練習会を開催致しました。

(単位：人)

開催日	会場	啓発内容	職員参加人数
H26. 4. 6	玉城中学校	玉城町桜まつり	6
H26. 6. 15	中央公民館体育館	町PTAソフトバレーボール大会	2
H26. 7. 20	アスパシア玉城	アスパシア玉城夏まつり	14
H26. 9. 12	伊勢市商工会議所	伊勢中央ロータリークラブ	6
H26. 10. 25	アスパシア玉城	アスパシア玉城秋まつり	8

- ・あいさつウォーキングの活動展開

しあわせ委員会と協働で平成26年11月8日（土）に「熊野古道ふれあいウォーキング」を開催しました。コースは、玉城町役場～原石佛庵（5km）、外城田小学校～原石佛庵（2.5km）の2コースに分けて行いました。

参加人数：105人
- ・「しあわせの一行詩」募集

社会福祉大会に合わせてしあわせ委員会と協働で募集を行いました。テーマは、「しあわせを感じた時」。住民からしあわせを感じる瞬間を寄せてもらい共感してもらおうとするものです。優秀作品は、社会福祉大会で表彰致しました。応募：小学生(4-6年生) 294作品、一般（中学生以上）31作品

② 地域福祉活動計画の策定

未整備の地域福祉計画の活動計画の一部に位置付け、平成23年度元気ですたまき委員会を中心に住民主体の取り組みとして「地域のコミュニケーションアップ」「福祉共育のできるまち」を基本目標にした「地域ふくし力向上計画」を策定し、始動中。今期は最終年度として、これまでの評価を行い、次年度に向けた計画の見直し、策定を行いました。

③ 福祉用具等貸出事業

車いす等福祉用具に関わる貸出事業を行っている。
対象（社協会員になっている人、団体）

車いす貸出状況 (単位：件)

年度	24	25	26
件数	54	44	61

④ 婚カツ事業

元気ですたまき委員などが中心になり、会名称を「おせつkaiたまき」として、社協内に設置。美し国おこし・三重事業に認定され、パートナーグループとして昨年度より活動しています。また、行政の行う活動（11/15開催）にも協力いたしました。今年度は、7月5日（土）に開催しました。

参加人数：42人（男女各21名ずつ） 成立カップル：3組

(3) ボランティア活動及び福祉教育の推進（ボランティア活動育成事業）

ボランティアに関する相談・斡旋、ボランティア養成・交流講座を実施し、ボランティアの育成や団体及び個人の自主的活動を支援します。

イ) ボランティアの養成、登録者の拡充と活動支援

① ボランティアセンター活動の充実

・ ボランティアセンター会議の開催

開催日	内容	参加団体数
H26. 5. 2	第1回 ①「元気ですたまきまつり」について ②今年度センター事業について ③助成金の交付について ほか	11
H27. 2. 27	第2回 ①平成26年度ボランティアセンター事業について ②団体活動報告及び次年度助成事業について ③ボランティア活動保険について ほか	10

・ ボランティア団体への支援（19団体）

（単位：人・円）

団体名	会員数	主な事業	助成金
ボランティア玉城	16	町内施設行事などへの参加、町内美化活動の推進	7,000
玉城町虹の会	60	独居老人への給食サービスや「夢工房」でのお手伝い。 町内施設、イベント時の支援や町内美化運動など	50,000
和敬会	7	抹茶を通じて、施設訪問を行い交流を深め。 また、さくら児童館にて茶道教室を実施	8,000
はなはなおはなし会	11	町保健福祉会館、町内保育所、田丸小学校での定期的な絵本・紙芝居の読み語りほか。	10,000
車椅子社交ダンス普及会玉城支部	7	車椅子とその利用者への理解やダンスを通じてリハビリを目的とし、町内の施設を訪問	0
マジックふらわぁ	4	各行事へ参加してのマジックの展示 保育所や福祉施設への訪問 ほか	5,000
カラフルらいおん	10	本や紙芝居の読み聞かせ等のイベントを通して子どもや子育て中の保護者同士の交流の場の提供。	10,000
さくら小町	8	町内福祉施設を中心に訪問し、ダンスを通じて心身のリハビリテーションの実施。入居者との親睦と交流を図る。	0
お楽しみ会	7	月1回。高齢者の集い（サロン）。 手芸、料理、体操を中心に活動	0
絵手紙サークル ゆずりは会	9	月2回定期開催（勉強会・絵手紙作成） 民生委員が安否確認時にお持ちする絵手紙を作成 町内イベントへの参加 ほか	10,000
悠ゆう塾サポーター	3	”悠ゆう塾”（行政事業）のサポーター活動	0
玉城語り部会	18	・町内観光のボランティアガイド ・歴史的文化財の探索調査 など	0
サポーター「さくら」	131	・認知症サポーターの育成 ・介護施設行事への参加 など	0

青色回転灯パトロールボランティア	19	住民の方の安全安心をより確かなものとするため町内をパトロール（教育委員会事業）	0
玉城町食生活改善推進協議会	71	栄養、健康づくり講習会・保健事業への協力・栄養改善大会への参加・健康体操	0
玉城町商工会女性部	13	イベントへの参加（体操など）	0
健康しあわせ委員会	64	健康づくり普及啓発	0
玉城町民生委員協議会	35	民生委員活動	0
玉城町防災・災害ボランティア	23	防災の啓発 災害支援活動	0
バルーンボラ	8	町内イベントなどへの参加を行い、心の元気につながる。	0
玉城おはなしキャラバン		今年度より、活動停止。 代表者、体調不良並びに活動者の確保難しい。	
玉城たんぽぽ		活動者の確保が難しく、休止となる。	
玉城手話愛好会		毎週の勉強会は休止。 依頼があれば、活動として参加する（福祉体験教室）	
花いっぱい運動		活動停止。 但し、状況により活動いただくこともある（9人） 活動保険には、加入	
延べ	524	実人数 401人（内個人11人、災害17	合計 100,000

② ふれあい福祉サービス（ちょっと有償ボランティア）

日常のちょっとした困りごとに登録ボランティアが支援を行っています。利用料はチケットにより清算。買い物やゴミ出しなどのニーズが中心となります。

（単位：件数）

年度	24	25	26
利用者実人数	11	15 (ICT 8)	12
利用回数	223	249 (ICT 9)	269

※ 買い物56件、ゴミ出し181件、くすりもらい2件、歩行訓練手伝い26件、洗濯物干し3件、

③ ボランティア交流事業

期日	内 容	参加団体（人数）
H26. 7. 2	「伊勢湾森・川・海のクリーンアップ作戦」賛同 外城田川沿いゴミ拾い	49人 虹の会（6人）、ボランティア玉城（3名）夢工房（13人）、末芳園（6人）、南勢就労（5人）、上々（5人）民生委員（11人）
H26. 7. 17	田丸城址 紫陽花の剪定	12人 花いっぱい運動（7人）、南勢就労（5人）

H27. 3. 15	ボランティア交流会 伊勢志摩バリアフリーツアーセンター 事務局長 野口あゆみ 「バリアフリー観光で住みよいまちづくり、ひとづくり」講演（ふくしを支える勉強会）聴取及び交流会	22人 虹の会（16人）、ボランティア玉城（1人）、悠ゆう塾（1人）、民生委員（2人）、健康しあわせ（2人）
------------	---	---

④ ボランティア養成講座

期日	内 容	参加人数
第1回 H26. 9. 27 第2回 10. 19 第3回 11. 22 第4回 12. 13 第5回 H27. 1. 17 第6回 2. 14	「おもちゃドクター」養成講座（6回講座） おもちゃの修理を行うボランティア養成 講師：鳥羽おもちゃ病院会員（第1～4回） 菰野町おもちゃ診療所会員（第5～6回） 鳥羽のおもちゃ病院開設時に、参加。実践 中での手順などを学ぶ。 また、菰野町おもちゃ診療所の代表に基礎 講習を依頼。最終回には、模擬開設を行 う。 3月より活動となる。	10人

ロ) 児童生徒の福祉意識の高揚

① 福祉体験教室の開催

子どもたちの福祉に対する基本知識の習得と、体験や地域住民との交流を通して考える機会をもち、あわせて思いやりの気持ちを深める。

(単位：人)

開催日	内 容	参加人数
H26. 7. 31	町内の福祉の様子や施設の説明 認知症キッズサポーター養成講座（講師：サポーターさくら） 高齢者デイサービス交流（玉城町社協）	11
H26. 8. 7	町内障がい者福祉施設（宮の里）で利用者と交流・車いす体験 点字体験・視覚障がい者の生活を知ろう（講師：県視覚障害者支援センター）	8
	町民体育祭お手伝いと赤い羽根共同募金の活動 ※募集を行うが参加者なしのため、中止	

② 福祉協力校の育成及び活動への助成

児童・生徒の社会福祉への理解を深め、地域とのつながりや社会参加の精神を養うとともに、児童・生徒の活動を通して家庭及び地域社会の啓発を図ります。また、協力校（全校）の教員との連絡会を開き、本事業についての説明（社協会費の充当など）、意見交換を行い、助成金の交付を行いました。

福祉協力校連絡会開催日：平成26年6月9日（月）

(単位：人・円)

学校/児童生徒数	金額	(報告) 主なもの
玉城中学校 509	100,000	人権・福祉講演会を開催する。 生徒会主催の玉城中ボランティア活動として、清掃活動などに取り組む。
外城田小学校 265	76,423	児童会の取り組みでユニセフの活動や募金の意義について調べ、学校新聞を通じて啓発を行った。

田丸小学校 346	85,000	学校に関わるボランティアの方々を学校に招待し、交流会を持った。 児童会を中心にお堀の浄化活動に取り組む。
有田小学校 182	70,000	児童会の活動がボランティア活動に結び付くよう、年間計画を立て活動に取り組む。 通学団に分かれ、校区の清掃に取り組む。
下外城田小学校 188	70,000	玉城わかば学園との交流 車椅子バスケットのプレイヤーの方に来ていただき、人権講演会を行った。
合計	401,423	

③ 児童生徒の福祉参画促進

児童・生徒が地域福祉活動へ参画するためのきっかけづくりを支援しています。夏休みを利用して、福祉体験教室の開催、福祉の作文の募集を行い、2学期にはしあわせの一行詩も募集いたしました。作文及び一行詩においては、優秀作品を2月開催の社会福祉大会で顕彰を行い、作文集を発行しました。
また、「楽笑会」や「地域福祉座談会」を学校の授業内で開催することが出来、地域の方々と接点を持った活動の展開を図ることが出来ました。

- ・「楽笑会」 2. 地域福祉事業の推進
(1) 老人福祉活動事業 ⑦楽笑会 項目と同じ

- ・「地域福祉座談会」
玉城中学校1年生の授業内でテーマ「防災」として、ボランティアなど住民の参加も得て、講演とグループワークを行いました。
期 日：平成26年10月18日（土）開催
演 題：「防災から学ぶ日常の心構え」
講 師：NPO法人防災ネットワークみらい 代表理事 久藤 茂氏
参加者：253人

④ 子育てサロン

ボランティア（カラフルらいおん）が未就園児の親子に対する子育て支援の場の提供を行っています。毎月第2水曜日開催。

(単位：人)

年度	24	25	26
平均参加人数	46	34	41

ハ) ふくしを支える勉強会

今年度は、民生委員研修と合同での開催といたしました。
期 日：平成27年3月15日（日）開催
演 題：「バリアフリー観光から住みよいまちづくり ひとつづくり」
講 師：バリアフリースターセンター 事務局長 野口あゆみ氏
参加者：55人

(4) 障がい者の自立と社会参加の促進（障がい児・者福祉活動事業）

障がい者の生活を豊かにするため、障がいのある人もない人も対等な立場で様々な分野の社会活動に参加できるように、環境づくりに努めています。

- ・はっぴいサークル

町内に住む特別支援学級または特別支援学校在籍の小・中・高校生を対象に長期休暇の過ごし方を地域の人と共に考え、共に過ごす機会と場の提供を行う。

(単位：人)

開催日	内 容	参加人数	
H26. 7. 28	カレー作りと創作活動 (牛乳パック工作)	36	(12)
H26. 8. 4	レクリエーション、アイスクリーム作り	38	(12)
H26. 8. 11	伊勢市横輪町 散策とまんじゅう作り	32	(9)
H26. 8. 25	ミニピザ作りとアルバム作り	44	(13)
H26. 12. 27	年賀状作りと豚汁作り	34	(10)

()は対象児童数

3. 相談・援助事業

(1) 福祉相談機能の充実強化

民生委員・行政相談委員・人権擁護委員による相談窓口を「心配ごと相談」として毎月10日・20日・30日実施。

(単位：件)

年度	24	25	26
相談件数	19	20	12

(内訳：財産4、人権・法律1、老人福祉1、住宅1、人間関係1、離婚1、その他3)

・ 窓口総合相談 (ボランティア含む)

(単位：件)

年度	24	25	26
相談件数	38	29	32

相談内容はボランティアに関する相談が多くありました。

(内訳：ボランティア関係18、高齢者関係8、障がい者3、その他3)

(2) 低所得者世帯の生活安定事業

生活福祉資金及び町世帯更生資金の有効活用を図り、低所得者世帯の生活安定と福祉向上に努めています。

本会は、町単独事業として独自の更生資金の貸し付けを行っていますが、県社協において平成21年10月、厳しい経済危機のもとで失業等による生活困窮が広がっている状況等を踏まえ、低所得者や失業者等の生活再建に向けた新たなセーフティネットの強化策が、継続的な相談支援とあわせて、生活費及び一時的な資金の貸付けを行う総合支援資金の創設等、制度の改正が行われたことをうけ、こちらを優先して支援相談に応じています。

・ 貸付相談数 (単位：件)

年度	24	25	26
件数	32	29	22

・ 平成26年度 貸付状況

①生活福祉資金 (単位：件)

更生資金	総合支援資金	福祉資金	住宅資金	教育支援資金	緊急小口	計
2	3	6	1	5	7	24

②町世帯更生資金

更生資金	生活資金	住宅資金	就学資金	災害援助資金	療養資金	計
1	15	0	0	0	0	16

※年度内実績

(3) 福祉サービス利用に関する相談援助事業

日常生活を営むうえで支障がある方に対し、福祉サービスの利用に関する相談・助言や手続き・支払い等の援助を行っています。

① 地域福祉権利擁護事業

県社協が事業主体となり平成23年度からは県内のすべての市社協が基幹的社協として専門員を、町社協には推進員、支援員を配置し支援しています。平成27年4月より事業の名称が「日常生活自立支援事業」に変更されます。

(単位：件・回・人)

年度	24	25	26
利用人数	5	6	10

延べ回数	170	211	247
支援員数	3	3	5

4. 受託事業の運営

(1) バス事業

① 研修バス

町のバスを使用して町事業はじめ、児童福祉、高齢者福祉、教育委員会の社会教育事業活動に研修バスとして委託運行しています。町内無料。町外30円/kmを利用者負担。

・ 依頼者別状況

依頼者	総務	税務	生福	上下水	産業	建設	議会	教育
依頼件数	4	0	54	0	6	0	2	178

病院	社協	各種団体					合計
0	14	19					277

※各種団体：社協所管5福祉団体及び民生児童委員協議会

・ 年度別依頼状況 (単位：件)

年度	24	25	26
件数	293	265	277

② 福祉バス

高齢者、身体障害者等交通弱者の移動手段の確保と生活支援を目的とする委託運行バスです。

【福祉バス】

平成23年1月からは小俣図書館との1日2便の運行。

・ 年度別利用状況 (単位：人)

年度	23	24	25	26
利用人数	3,120	2,503	3,133	2,291

内訳 町内 696人
町外 1,595人

【元気バス】

高齢者を中心とする交通弱者の町内移動手段

平成26年度の状況：

登録者数：1,335人

登録者性別

男性：388人 29.1%

女性：947人 70.9%

登録者年代別

65歳未満 24.5%

65～69歳 6.8%

70～74歳 10.9%

75～79歳 16.4%

80～84歳 20.1%

85歳以上 21.3%

利用者数：延べ26,487人

1日平均実利用者数：74人

・ 運行概要

デマンド方式、運賃無料。

10人乗りワゴン車 平日3台（水のみ2台）。土日祝日は1台体制。

8時50分から17時15分運行、年末年始のみ運休

・ 平成26年度利用状況 (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	上半期計	
人数	2,214	2,116	2,255	2,294	2,048	2,284	13,211	
月	10	11	12	1	2	3	下半期計	年度計
人数	2,462	2,262	2,274	1,970	2,051	2,257	13,276	26,487

・ 年度別利用状況 (単位：人)

年度	23	24	25	26
利用人数	27,236	26,291	26,296	26,487

【すまいるバス】

機能回復事業に係る移動支援バス。

・平成26年度利用状況 (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	上半期計	
人数	111	141	143	131	105	94	725	
月	10	11	12	1	2	3	下半期計	年度計
人数	144	91	131	143	140	170	819	1,544

・年度別利用状況 (単位：人)

年度	23	24	25	26
利用人数	—	1,542	1,619	1,544

火曜日・金曜日に利用の多い介護予防事業への参加者をすまいるバスに一部移行し、元気バスの利用率を拡大しています。

(2) 各種福祉団体事業の運営

民生委員児童委員協議会をはじめ、福祉5団体（老人クラブ連合会、身体障害者福祉会、遺族会、母子寡婦福祉会、手をつなぐ親の会）を運営しています。

内容 1－(5) 参照

(3) ICTふるさと元気事業の運営

総務省の「ふるさとICT元気事業」の採択を受けて以降、元気バスの予約をスマートフォンや町内31カ所に設置したタッチパネルパソコンを通じて予約できたり、緊急事態が起こった場合に通報ができたりする仕組みです。

現在、利用者は、民生委員14名を含む38人で今後の拡大は見込めず、新たな見守り携帯でサポートする仕組みに変更しています。

・取材視察者への対応など

直接社協にかかわる団体などからの依頼は対応しています。

最近の傾向として、既導入の団体（市町）、民生委員協議会など市民団体から見守りを兼ねたシステムへの見聞視察や、大学などの研究者の視察もあります。

既導入市町：日進市、

民生委員協議会等：名張市、鈴鹿市、熊本県玉東町、菰野町、津市

市町村：小牧市、愛知県扶桑町、尾鷲市、大阪府河南町、宮城県松島町

個人：立命館大学院生、名古屋大学

5. 募金活動の推進

(1) 日本赤十字社募金と地域福祉活動

日本赤十字社の活動は、地震や台風などの自然災害等が発生した際に、救護班を現地に派遣する「災害救護活動」、血液製剤の安定供給・国内自給の確保を目的とした「血液事業」など、多岐にわたっています。

当町においても、町内住宅火災時等に災害救援物資の配布、災害死亡弔慰金の支給を行っています。また、毎年5月は、全国いっせいに赤十字社員増強運動が実施され、運動期間中は、赤十字思想の普及、赤十字社員組織の拡充と社資（寄付金）協力への呼びかけを行っています。（当町は、寄付金協力をお願いしています）

・年度別寄付金額 (単位：円)

年度	24	25	26
金額	1,865,070	1,803,300	1,775,600

(2) 共同募金と歳末助け合い活動

社会福祉法で位置付けられた「共同募金」は、きめ細かく創意に満ちた福祉活動を行う民間社会福祉事業の財政的支援として大きな期待が寄せられており、広くご協力を呼びかけ、毎年10月赤い羽根の募金としてなじみ深いものです。寄せられた募金は、地域のさまざまな福祉活動や福祉施設の充実、ボランティア活動を支えるためなどに役立っています。

- ・ 年度別寄付金額（共同募金）（単位：円）

年度	24	25	26
金額	1,921,113	1,819,580	1,758,855

- ・ 年度別寄付金額（歳末助け合い）（単位：円）

年度	24	25	26
金額	131,000	144,000	158,760

(3) 災害義援への協力及び活動

国内・国外で起きた自然災害に対し、災害義援金の募集・受付を行っています。

- ・ 災害義援金

① 東日本大震災義援金

28,000円

うち、元気ですたまきまつり（ビンゴ） 24,800円

元気ですたまきまつり（お菓子買い取り分） 3,200円

- ・ 桜まつりチャリティーバザー実行委員会

1. 法人運営

(2) 会員制度等の推進

- ① チャリティーバザーを開催 項目と同じ

6. 在宅福祉事業の運営

(1) 介護保険事業の推進と実績

① 居宅介護支援事業

- ・ 平成26年度利用状況（予防を含む）

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	152	158	161	159	161	165	162	158	157	147	143	149	1,872

- ・ 年度別利用状況

（単位：人）

年度	24	25	26
利用人数	1,739	1,663	1,872

② 通所介護支援事業

- ・ 平成26年度利用状況

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	806	850	808	835	762	799	755	784	741	671	583	652	9,046

- ・ 年度別利用状況

（単位：人）

年度	24	25	26
利用人数	10,746	9,714	9,046

③ 訪問介護支援事業

- ・ 平成26年度利用状況

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	727	730	704	707	642	625	673	665	733	724	648	706	8,284

- ・ 年度別利用状況

（単位：人）

年度	24	25	26 上半期計
利用人数	9,294	9,269	8,284

(2) 障害者支援事業の取り組みと実績

① 生活介護事業 夢工房たまき

- ・ 平成26年度通所状況

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	264	246	254	262	245	253	265	221	226	231	234	284	2,985

- ・ 年度別利用状況 (単位：人)

年度	24	25	26
利用人数	2,837	2,949	2,985

- ・ 生活支援
排泄、食事、入浴、送迎等の支援

- ・ 生活訓練及び創作活動
作業
さをり織り・木工・牛乳パックの椅子・編み物等
生活実習
買い物・外食・観賞
地域交流
利用者による、自主製品の販売
ボランティア・ボランティアサークルの受け入れ

② 相談支援事業 みらい (平成27年2月事業所開所)

- ・ 平成26年度相談 (一般・障がい児) 支援件数状況 (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	5	13

- ・ 平成26年度モニタリング (一般・障がい児) 件数状況 (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	8

- ・ 年度別支援 (単位：人)

年度	24	25	26
利用人数	—	—	21

③ ホームヘルプサービス

- ・ 平成26年度利用状況 (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	125	100	105	91	65	60	68	61	69	64	59	63	930

- ・ 年度別利用状況 (単位：人)

年度	24	25	26
利用人数	818	1,440	930

(3) 移送サービス支援事業

① 福祉有償運送事業

- ・ 平成26年度利用状況 (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	168	142	150	162	159	144	177	176	170	144	165	229	1,986

- ・ 年度別利用状況 (単位：人)

年度	24	25	26
利用人数	2,527	2,205	1,986

7. 地域住民からのニーズ事業

(1) シルバー人材センター事業

- ・ 会員数の状況 (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
男子	105	105	110	111	112	112	115	116	116	116	116	118
女子	68	68	70	70	71	71	71	71	71	71	72	72
人数	173	173	180	181	183	183	186	187	187	187	188	190

・ 契約金額 (単位：円)

年度	24	25	26
金額	60,418,893	62,725,388	63,425,302

・ ボランティア活動

平成26年11月20日(木)に梅がおか児童館において、会員7名で児童館周辺のグラウンド整備・剪定・草刈作業を行った。

平成27年2月25日(水)下外城田保育所において、年長組を対象に会員1名でグラウンドに植えてある樹木の説明を行った。(どんな花が咲くのか・樹木が何に使われるのか)

・ 講習会

平成27年3月13日(金)玉城町保健福祉会館において、講師に八木 勝美氏招いて、会員7名に対し剪定時期・剪定の方法についての説明を行って頂きました。その後、会館の樹木にて実地練習も行った。